

[参加報告] 日カンボジア経済共創交流シンポジウム（第2回）～衛星技術、脱炭素技術を利用したカーボンプレジットビジネスの創出に向けて～

（2024年8月7日 共催：ジェトロ・JAXA、特別協力：オクニャ協会）

日カンボジア経済共創交流シンポジウムは、2023年8月に続き、第二弾として開催されました。今回のシンポジウムは、ジェトロとJAXAが共催に加え、パートナーとしてカンボジアオクニャ協会（注1）の全面協力を得て行われました。カンボジアのディット・ティナ農林水産大臣及びイエン・ソポルレット環境大臣、



提供：ジェトロ

リ・ヨン・パット オクニャ協会会長、植野大使の臨席と共に、オクニャ協会（財閥経営者等）や関係省庁をはじめとする関係者が参加しました。（総参加者数は、約230名。）（オンライン配信も実施）。

本シンポジウムでは、カーボンプレジットビジネスの紹介としてカーボンプレジットに関する世界的な傾向をジェトロが、カーボンプレジットビジネスに貢献する宇宙技術についてJAXAから発表すると共に、韓国系NGOのW-Foundationから、カンボジアで開設準備を進めている、世界初のSTO（Security Token Offering）を活用したカーボンプレジットの取引所について、発表が行われました。

その後、カンボジアの主要産業セクタ（農業系／林業系／工業系）によるパネルディスカッションが行われました。スピーカーとして、各テーマを強みとする日系企業が登壇し、モデレーターはカンボジア側の各分野のキーパーソンが務めました。登壇企業とモデレーターとの議論も深めつつ、会場参加者からの質疑にも答える形で進行しました。



提供：オクニャ協会

シンポジウム開催後は、参加者全員によるネットワーキングが行われました。パネル登壇企業以外の日系企業も、ミニブースを設けてカンボジア側の関係者とコミュニケーションを行いました（注2）。

(注1) オクニャ (Okhna) とは、カンボジアに貢献している個人に与えられる称号で、国王から授与される。その中でも審査を経た個人のみがオクニャ協会に加盟できる。オクニャ協会の会員は、8月15日現在、400名を超えており、著名な財閥経営者が多数所属している。

(注2) 参加した日系企業は、次のとおり。(下線は CONSEO 会員企業)

パネルディスカッション登壇企業：

- ・ 農業系：サグリ、グリーンカーボン、アジア航測
- ・ 森林系：ネクストフォレスト、アルケダ、サステナクラフト
- ・ 産業系：IHI、ゼロボード、ゴミソリューションズ

その他の参加企業：

天地人、ispace、グローバル、パスコ、スカパーJSAT、日本工営、日新電機、三菱重工、デロイトトーマツリスクアドバイザリー、有限責任監査法人トーマツデロイトトーマツ

●イベントの様子

[開会挨拶及びキーノート・スピーチ]



提供：オクニヤ協会



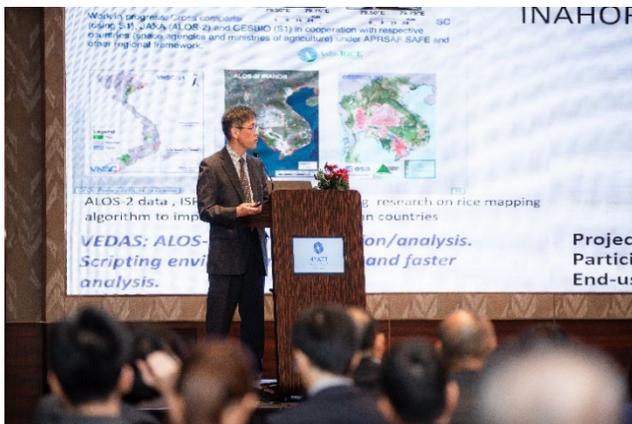
提供：オクニヤ協会



提供：オクニヤ協会

イベント開会の様子。写真は、ジェトロ河田美緒理事（ウェルカムリマークス）（左）、植野篤志駐カンボジア日本国大使（開会挨拶）（中央）、イエン・ソポルレット環境大臣（キーノートスピーチ）（右）

[カーボンクレジットビジネスの紹介]



提供：ジェトロ

JAXA は祖父江マネージャーが稲作地からのメタンガス排出推定/削減の事業化実証などグリーン/農業関連の取り組みを紹介



提供：オクニヤ協会

カンボジアでは世界初の STO（Security Token Offering）を活用したカーボンクレジットの取引所がオープン予定。設立する韓国系 NGO W-Foundation の Kevin W. Lee 議長も登壇

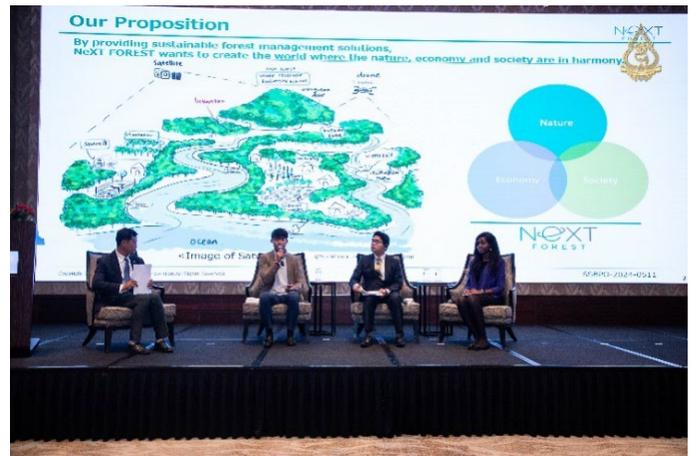
[主要産業セクタによるパネルディスカッションの様子]



提供：オクニヤ協会

セッション1 農業セクタ

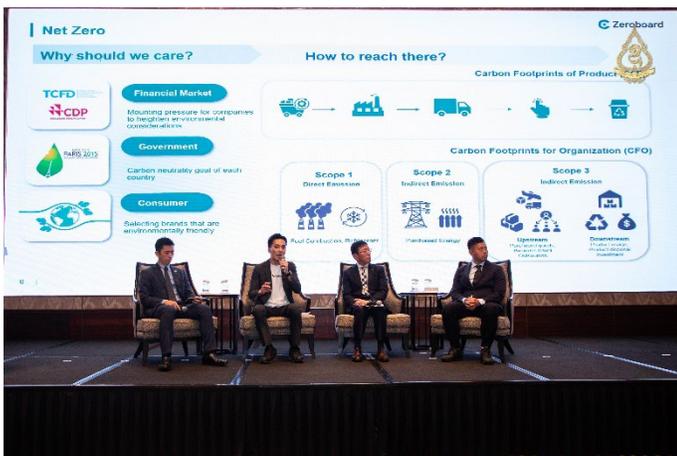
パネル登壇：サグリ（株）、GREEN CARBON（株）、アジア航測（株）



提供：オクニヤ協会

セッション2 林業セクタ

パネル登壇：（株）IHI/NEXT FOREST、SUSTAINACRAFT INC.、（株）Archeda



提供：オクニヤ協会

セッション3 工業セクタ

パネル登壇：IHI ASIA PACIFIC (THAILAND) CO., LTD.、（株）ゼロボード/ZEROBOARD

[関連イベント]「カンボジア-日本ビジネスマッチング・投資促進・交流イベント」(8/7)
及び「大規模農地／地元企業視察、経済特区訪問」(8/6、8/8)

8/7の「日カンボジア経済共創交流シンポジウム」の関連イベントとして、カンボジア・オクニャ協会より、以下のイベント及び視察機会が提供され、日系企業関係者が参加いたしました。

■カンボジア-日本ビジネスマッチング・投資促進・交流イベント (8/7)

スン・チャントール副首相兼カンボジア開発評議会(CDC)第一副議長が臨席する中、カンボジアオクニャ協会主催、ジェトロとJAXAがパートナーとして協力する標記イベントが開催されました。

イベントでは、CDC、商業省、産業科学技術イノベーション省から次官級が登壇し、①カンボジアの魅力のポイント(戦略的な立地・若く活力ある労働力・経済成長・QOLの高い生活環境)、②ビジネス・貿易・投資環境、③製造業におけるグリーン経済関連の取り組みについて紹介され、終了後はオクニャ協会の財閥経営者らと日系企業関係者との間のネットワーキングの機会が設けられ多くの両国関係者による活発なコミュニケーションが行われました。



提供：オクニャ協会



提供：オクニャ協会



提供：オクニヤ協会

■大規模農地/地元企業視察 経済特区訪問（8/6、8/8）

オクニヤ協会会員が経営する①大規模サトウキビ農地及び製糖工場視察、②飲料製造工場におけるグリーン（カーボン・リサイクル）の取り組み視察、③大規模稲作地/及び農地視察が行われました。また、④プノンペン経済特区（PPSEZ）やカンボジア縫製・製靴・旅行用靴協会（TAFTAC）、縫製関係の工業団地等を訪問し、入居する企業との間の商談も行われました。



提供：ジェトロ

大規模サトウキビ農地及び製糖工場視察



提供：ジェトロ

飲料製造工場におけるグリーン（カーボン・リサイクル）の取り組み視察



提供：ジェトロ

大規模稲作地/及び農地視察



提供：ジェトロ

カンボジア縫製・製靴・旅行用靴協会
(TAFTAC) 訪問